

総合的な仕様等

レコダを交換し、別のDDNS/UCNに登録したが、古い登録でもレコダが見れるのは何故？

古いレコダをA、新しいレコダをBと仮定します。

AレコダにはAAAAA.bestddns.com

BレコダにはBBBBB.bestddns.com というDDNSを取得いたします。

この時、Aレコダは取り外されているにもかかわらず、PCやスマートフォンに登録が残っているAレコダの接続先へ接続を試みるとBレコダの映像が出る事があります。

これは、DDNSという物が実際にはグローバルIPを代している事が理由となります。

グローバルIPは通常、ルータの再起動等で変更がかかってしまいますが、このグローバルIPが変わっても同一のアドレスで接続が出来る様紐付けているのがDDNSとなります。

今回、レコダを置き換えも際にグローバルIPが変わっているわけではありませんので、

AAAAA.bestddns.comとBBBBB.bestddns.comの接続先は同一のグローバルIPとなります。

ゆえに、グローバルIPが変わるまでは古いアドレスでも新しいレコダに接続する事が出来てしまいます。

グローバルIPが変わったタイミングでAAAAA.bestddns.comは追従して更新されず、やがて接続する事は出来なくなります。

その為、DDNS名を新たに取得された場合、お早目に遠隔監視情報の更新をすることを推奨します。

UCNに関しても、接続方法の詳細は異なりますがグローバルIPを取得しているという観点では同様です。

古い方のUCN名では接続先情報が更新されませんので、新しい機器のUCN名をご使用ください

。

一意的なソリューション ID: #1993

製作者: jss

